

鉄筋工										コンクリート使用材料及び施工												
基礎の種類		☐ 直接基礎 { ☐ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☐ 独立基礎 } ☒ くい基礎 { ☒ 場所打ち鉄筋コンクリート杭 ☐ 既製杭 (PHC杭、SC杭、鋼管杭、その他 ()) }																				
コンクリート確認項目	施工	使用工法	在来				基準	☒ JASS5(2018年版) ☐ その他()														
		使用部位	杭		基礎		1階～2階	2階～5階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階								
		設計基準強度	30 N/mm ²		36 N/mm ²		36 N/mm ²	36 N/mm ²														
		打設方法	トレミー管打ち		ポンプ打ち		ポンプ打ち	ポンプ打ち														
		使用工法													軽量()種	モルタル	グラウト					
		使用部位	階～階		階～階		階～階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階								
		設計基準強度													33N/mm ²	40N/mm ²						
		打設方法													バケット打ち							
	試験・検査計画	品質管理責任者 氏名 ○○建設株式会社 ○○ ○○										工事監理者 又は係員氏名					常駐 非常駐					
		検査担当者(工事施工者) 氏名 ○○ ○○																				
検査項目		打込前	☒ 試練 ☒ 散水 ☒ 配筋 ☒ かぶり厚さ										○○ ○○					(常)・非				
		打込中	☒ テストピース採取 ☒ 打込速度・順序 ☒ 締固め										○○ ○○					(常)・非				
		打込後	☒ 養生方法 ☒ 養生温度 ☒ 打込欠陥										○○ ○○					(常)・非				
エア・スランプ試験等の代行業者名										○×検査(株) 登録番号：採高強-○○-(××)-△△号												
供試体の養生場所・管理者										○×検査(株) 標準養生 浅草 一郎												
構造体コンクリート試験機関名										Fc36N/mm ² 以下の場合 (株)○○○○○○○ 都登録第試A-○○-(□)-△△号 Fc36N/mm ² 超の場合 ○○○株式会社 都登録第試B-○○-(□)-△△号												
鉄筋使用材料及び施工																						
使用鉄筋	種別	SD295				SD345				SD390												
	使用径	D10 ～D16				D19 ～D25				D29 ～D32												
鉄筋確認項目	施工	継手種類	圧接継手				機械式継手				溶接継手				重ね継手(その他)							
		使用箇所	地中梁、柱、梁主筋				1F 柱主筋								壁、スラブ等							
		継手工法名(溶接材料)					○○ジョイント															
		継手施工会社(優良圧接業者)	(株)○○○○(優)				○○株式会社															
			A 級				その他				SA, A級											
		技量確認・施工前試験					無				有											
	試験・検査計画	冷間直角カッターの使用					有															
		外観検査(%)					100				100				100							
		引張試験(箇所/ロット)					5/1															
		超音波探傷・測定検査(箇所/ロット又は%)					30 箇所/ロット				10 箇所/ロット											
引張試験併用						有				無												
引張試験機関名										○○○○○○株式会社 都登録第試A-○○-(□)-△△号												
非破壊検査機関名										○○○○○○株式会社 都登録第筋-○○-(○)-○号 検査者 ○○ ○○ 資格 3種-○○○○												
外観検査実施者										工事監理者・工事施工者/検査機関 ○○○株式会社 都登録第筋-○○-(○)-○号 検査者 ○○ ○○ 資格 3種-○○○○												
鉄筋コンクリート工事重点管理項目										・配筋が密になっている箇所について、鉄筋のあき、かぶりが確実に取れていることを確認。 ・機械式継手について、UT検査を行い確実な施工が行われていることを確認。 ・コンクリート打ち込み欠損部の状況を確認し、欠陥に応じた補修を行う。												

品質確保のため、重点的に管理する項目について、
工事施工者、工事監理者それぞれの立場から記入。

[illegible]

コンクリート試験計画及び鉄筋試験・検査計画一覧									
番号	打込箇所	打込期間 (年 月 日)	コンクリート圧縮強度 試験回数 ※1	番号	鉄筋接合 箇所 (継手種類)	継手予定 (年 月 日)	鉄筋引張 試験回数 ※3	超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)	
枝番		打込予定数量 (m³)	うち防災センター 試験回数 ※2	枝番		継手予定数量 (箇所)	うち防災センター 試験回数 ※2	引張試験併用 (箇所/ロット)	
1	杭	RO. O. OO~ RO. O. OO	2 2	1	地中梁 (ガス圧接継手)	RO. O. OO~ RO. O. OO	16	0/0(箇所/ロット)	
		2, 272	3			2, 600	3	0 (ロット)	
2	基礎	RO. O. OO~ RO. O. OO	8	2	1F梁 (ガス圧接継手)	RO. O. OO~ RO. O. OO	3	180/6(箇所/ロット)	
		1, 070	2			1, 050	3	15/3(箇所/ロット)	
○	○階立上り ~ ○階床	RO. O. OO~ RO. O. OO	1 5	○	○F梁 (ガス圧接継手)	RO. O. OO~ RO. O. OO	4	0/0(箇所/ロット)	
		1, 460	3			780	1	0/0(箇所/ロット)	
○	○階立上り ~ ○階床	RO. O. OO~ RO. O. OO	1 0	○	○F柱 (機械式継手)	RO. O. OO~ RO. O. OO	0	150/5(箇所/ロット)	
		1, 250	2			880	0	0/0 (ロット)	
				○	○F梁 (ガス圧接継手)	RO. O. OO~ RO. O. OO	4	0/0(箇所/ロット)	
						780	1	0/0(箇所/ロット)	
番号、打込箇所及び打込予定年月日は その2 に合わせる 鉄筋接合箇所及び継手種類(カッコ書き)を記入する。 ※1 記載の通り、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ150m³又はその端数ごとに1検査ロットとして算出した回数とする。 ※3 記載の通り、圧接箇所数200箇所ごと及びその端数ごとに1検査ロットとして算出した回数とする。 上記数量、回数の合計を記入する。									
合 計		打込予定数量 (m³)	コンクリート圧縮強度 試験回数	合 計		継手予定数量 (箇所)	鉄筋引張試験 回数	超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)	
		○○,○○○m³	1 3 6 回			○○,○○○箇所	○○回	○○箇所(○○ロット)	
			うち防災センター試験 回数				うち防災センター 試験回数	引張試験併用 (箇所/ロット)	
			2 1 回				○○回	○○箇所(○○ロット)	
供 試 体 試 験	28日	3 本	支柱早期除去用 部位(梁下・床下)	1 4 日	3 本	PS導入用	日 本		
1 回の試験のうち (告示第1102号)	2 8 日	9 本							
高強度の場合記入する。									

(注意) 1 1検査ロットの試験回数は1回とし、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ150m³又はその端数ごとに1検査ロットとする。ただし、高強度コンクリートは1検査ロットとする。

2 防災センターとは、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。

3 1組の作業班が1日に行った圧接箇所を1検査ロットとし、圧接箇所数が200箇所を超えときは、200箇所ごと及びその端数ごとを1検査ロットとする。抜き取り本数は、ガス圧接継手の場合は1検査ロットに対して5本、溶接継手の場合は3本以上とする。